

ふくつ

# 社協だより

6 2024  
JUNE  
No.84

『福』津の『福』祉に『福』来たる

『医療的ケア児を知っていますか？』  
みんなの笑顔を支えたい



## CONTENTS

- 特集 ささえーる「医療的ケア児について」
- 令和6年度 事業計画・予算
- ふらっとのご案内

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金により作成しています。

福津市ふれあい交流事業  
障がい者コミュニティカフェ

# ふらっと

(令和6年度 第2回開催のご案内)

障がいがある方の  
防災について考える  
まじかけにしてみませんか

警視庁防災対策課の  
X(旧 Twitter)で  
話題になった防災ボトル

100円ショップなどで手に入るドリンクボトルに、“あったら便利”な防災グッズを詰めるだけ  
いつどこで起こるか分からない災害への備えとして…



日時 7月27日(土)  
13:00~15:00

場所 ふくとぴあ  
1階 にこにこルーム

対象 障がい者福祉に  
関心のある方

申込み 参加を希望される方は事前に本会へ  
申込みのご協力をお願いします。  
当日、飛び込みでの参加も歓迎します。

ふらっとは、奇数月の第4土曜日に、障がいのあ  
る方もない方も“フラット”な関係で交流できる場と  
して開催しています。

今回は防災をテーマに『防災ボトルづくり』の  
ワークショップをしながら、防災には何が必要か、被  
災時に障がいがある方にはどのような配慮が必要か  
など、皆さんで語り合いませんか。

どなたでも気軽に“ふらっと”お越しください。



広報誌について  
お問い合わせ先



社会福祉法人 福津市社会福祉協議会

☎0940-34-3341

〒811-3218 福岡県福津市手光南2丁目1番1号 URL : <https://fukutsu-shakyo.or.jp>

みちるちゃん  
笑顔が  
見逃せない！



## みちるちゃんのこと

みちるちゃんは、おしゃべりはできませんが、身振り手振り、表情で自分の気持ちを伝えてくれる可愛い女の子です。

令和元年、2,792gで元気に生まれてきたみちるちゃんでしたが、ある日から、左目が内側に寄る、体重が増えない、離乳食の飲み込みがうまくいかない、呼吸が苦しそうといった気になってきました。1歳を過ぎた頃、呼吸が止まって顔色が悪くなり、病院へ救急搬送されました。その後も似たような出来事が続き、入院中も呼吸不全に陥りました。十分に考える暇もない中で、両親は気管切開に同意。その後の検査で難病の“ゴーシェ病Ⅱ型”（※5）と診断されました。

現在、みちるちゃんは2週間に1回の入院治療や訪問診療を利用して、24時間、胃ろう・気管切開・喀痰吸引・人工呼吸器使用（夜間のみ）などの医療的ケアを受けながら自宅で生活しています。



## みちるちゃんと家族の1日

両親は、2人とも仕事をしながら、毎日4時間ずつ交代で睡眠をとり、痰が詰まっていないか、呼吸が止まっていないか、目を離さずとお世話をしています。訪問看護や福祉サービスも利用していますが、それでも、まだ補いきれないことがあります。

## 一緒に考えたい、これからのこと

- みちるちゃんは、2週間に1度の受診に加え、歯科やリハビリにも通っています。仕事をしている両親は、休みの取得に限界があるため、1人で運転して行かなければならず、そのようなときに、痰吸引や呼吸が止まった際の対応に困っています。
- ほかに、
- 就学予定の学校は、医療的ケアが必要な児童は送迎バスに乗れないけれど、仕事がある保護者は、どうしたらよいのだろう？
- 災害時、たくさんの医療機器を抱えてどうやって避難すればよいのだろう？
- 医療的ケア児を受け入れる体制が整った保育園・幼稚園が少ない・・・など。

法律ができたとはいえ、まだまだ考えなければならない課題がたくさんあります。この記事を通して、1人でも多くの方に医療的ケア児のことを知ってもらい、考えるきっかけになっていただければと思います。

みちるちゃん	両親・介護者
	4:00
	5:00 ①薬の注入
	6:00 ①食事(栄養剤注入)
起床	胃ろう、気管切開部分のガーゼ交換
	7:00 ②薬の注入
訪問看護支援(8:30~9:15)	②食事(ミキサー食注入)
通所先お迎え(9:15)	9:00
通所先活動	10:00 ヤクルト注入 ③薬の注入
	11:00
	12:00 ③食事(栄養剤注入)
	13:00
	14:00 ④薬の注入
帰宅	15:00
入浴(訪問看護支援)	16:00
	17:00 ④食事(栄養剤注入)
	18:00
	19:00 ⑤薬の注入
	20:00 白濁注入
入眠	21:00 ⑤食事(ミキサー食注入)
	22:00 ⑥食事(栄養剤注入)
	23:00 ⑥薬の注入
	24:00 ⑦食事(栄養剤注入)
	1:00
	2:00
	3:00

※5) ゴーシェ病とは、患者数が国内で150名程度、その中でもⅡ型の患者は約40名程度の先天性代謝異常に属する疾患で、酵素機能が悪くなる進行性の難病



福津市基幹相談支援センターだより

「ささえーる」は、「支える」+「エール(応援)」を合わせた造語です

福津市基幹相談支援センター TEL/0940-62-6004 メール/kikan@fukutsu-shakyo.or.jp



# みんなの笑顔を支えたい 医療的ケア児を知っていますか？

## 世界一新生児を救う国

日本は、世界で一番、新生児を救える国だと言われています。(※1) 医療の進歩により、今まで救えなかった命が救えるようになった一方、日常生活に医療的ケアが必要な方が増えてきました。

医療的ケア児とは、「日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケア(人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為)を受けることが不可欠である児童(18歳以上の高校生等を含む)」とされています。(※2)

このような医療的ケア児は、年々増えており、令和3年度の厚生労働省の調査では、全国におよそ2万人いると言われています。

## 2021年、医療的ケア児支援法が施行

医療的ケア児を、医療的ケア児ではない児童と同じように社会で育てること、医療的ケア児の家族の離職予防を目的として「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行されました。今まで、国・地方公共団体の努力義務だった医療的ケア児やその家族に対する支援が責務になり、一層の施策の充実が求められています。

## 「動ける」医療的ケア児たち

医療的ケア児は、いわゆる寝たきりの子から、歩ける子まで、身体状況が様々です。動ける医療的ケア児は、自分で人工呼吸器を外してしまう等のリスクもあり、目が離せないという理由でサービスが断られるといった課題もあります。

## 福津市に何人いるの？

令和6年4月現在、福津市で把握している医療的ケア児は11人です。(※3) 今回は、その中の1人、みちるちゃんを通じて、医療的ケア児とその家族のことを知っていただきたいと思います。

## 6類型で見る「動ける医療的ケア児」(※3)

医療的ケア	動ける医療的ケア児			
	軽度身体障がい	知的障がい	知的障がい	発達(行動)障がい
医療的ケア	医療的ケア	医療的ケア	医療的ケア	医療的ケア
A: 軽度身体障がいあり B: 知的障がいなし or 立つ・動く	C: 知的障がいあり 立つ・動く	D: 知的障がいあり 立つ・動く +行動障がい	E: 重症心身+医療的ケア	F: 重症心身+医療的ケア +行動障がい

※1) WHO (世界保健機関) の世界保健統計 (World Health Statistics) 2023年版に掲載されている新生児死亡率の統計より  
 ※2) 引用: 厚生労働省「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」より  
 ※3) 令和元年度厚生労働科学特別研究事業「可視化及び研修プログラム確立に関する研究」より引用 (福岡県子ども療育センター新光園 福岡県医療的ケア児支援センター 横田 信也氏改変)  
 ※4) 福津市がサービス利用や手帳発行等をして把握している人数

# 令和6年度 事業計画・予算



## 重点的な取り組み事項

### 1

#### 地域での支えあい活動の充実

○現在、46団体（48自治会）が小地域福祉会を結成し、見守り活動や日常生活支援活動、交流・ふれあい活動などに取り組んでいます。今後も、地域で互いに支えあい、助けあえるような関係づくりを支援し、さらなる充実と新規結成の支援を図ります。



岡の二福社会  
支え合いマップ作り



花見3・4区福社会  
クリスマス交流会



若木台5区福社会  
コミュニケーション麻雀



有弥の里1区福社会  
介護教室

○第2層生活支援コーディネーター（※）活動を支援し、各郷づくり推進協議会や小地域福祉会など地域の様々な団体と密に連携を図り、地域の特性を生かした地域の支えあいの仕組みづくりに取り組みます。

（※）生活支援コーディネーターは、地域の「あること（社会資源）」と「あったらいいな（地域ニーズ）」を見つけてつながせたり、足りないものを新たに創るための支援を行い、地域における支えあいの体制づくりを進めていく役割を担っています。



第2層協議体情報誌  
ふくつのふくし



地域課題に関する意見交換

### 2

#### 安心して暮らせる 仕組みづくり

○法人後見事業や市民後見推進事業、日常生活自立支援事業などの取り組みを一層強化し、総合的な権利擁護体制の構築に寄与します。



自宅訪問の様子

○身寄りのない高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、事前に預託金を預かり、葬儀や家財処分、定期的な見守り等を行なう「あんしん安らか事業」の普及に努めます。



### 3

#### いつでも相談できる体制の構築

相談を包括的に受け止める体制づくり

○生活福祉資金の貸付事業、基幹相談支援センター事業など、生活困窮者・障がい者・子どもなどの支援にかかわる施策の受託を積極的にを行い、個々に寄り添った支援を行います。

○高齢・障がい・子ども・生活困窮など、本人や世帯の属性にかかわらず、地域の様々な相談を受け止めるために、それぞれの相談機関の協働の中核となる体制の構築を目指します。

社会福祉法人連絡会による公益的な事業の推進

○社会福祉法人の連携によるサービスの充実・向上を図るとともに、地域住民の生活課題に対応できる公益的な事業を検討・実施します。ふくおかライフレスキュー事業に参加している法人による連絡会を中心に相談支援方法を協議し、生活困窮者等が抱える制度の狭間の課題に連携して対応します。



福津市社会福祉法人連絡会

## 予算

●収入 (単位：千円)	
種別	予算額
寄付金収入	711
補助金収入	49,887
受託金収入	84,449
事業収入	1,611
介護保険事業収入	15,417
障害福祉サービス等事業収入	2,153
利息収入	3
その他の収入	150
施設整備のための借入金	337,282
その他施設整備による収入	96,349
積立金の取崩	11,562
他の事業からの繰入金	9,359
預託金	1,000
前年度繰越金	23,879
収入合計	633,812

●支出 (単位：千円)	
種別	予算額
人件費支出	122,792
事業費支出	12,566
事務費支出	17,078
助成金支出	7,693
固定資産取得支出	433,871
債務の返済支出	1,289
積立金	1,350
他の事業への繰出金	9,359
退職手当積立基金預け金	4,882
予備費支出	500
次年度繰越金	22,432
支出合計	633,812

さらに詳しい内容をホームページで公開しています。

<https://fukutsu-shakyo.or.jp/about/about.html>



# あんしん安らか事業

## 「自分の亡くなった後のことは どうしたらいいんだろう」



このようなことでお困りではありませんか？  
あんしん安らか事業では、ご本人の意向に沿って契約を締結し、  
死後事務に関するお手伝いを行っています。

- 契約者からお預かりした預託金をもとに、契約者の方が亡くなった際に、葬儀、火葬、納骨等の実施や官公庁等への必要な諸手続きを行います。
- 契約中は、本会職員が定期的に連絡や訪問を行います。
- 希望される場合には、入退院時の支援や書類等のお預かりを行います。

※詳細な利用条件や、お手伝いできる範囲は福津市社会福祉協議会までお問い合わせください。

**お問い合わせ先 福津市社会福祉協議会 ☎0940-34-3341**

### 連載

こんにちは！

## 民生委員です！

広げよう！ 地域に  
根差した 思いやり！

活動のモットー 「人に優しく、誠実に」

主任児童委員（福間中学校校区） 古賀 久行 さん



古賀主任児童委員さんは、福間中学校校区において、地域住民の立場から支援を要する児童の相談内容に応じて適正に判断し、専門機関につないだり、見守ったりと、長年、地域の児童福祉に携わっておられます。

民生委員・児童委員を2期務めた後、仕事内容は詳しく分からないものの「人のために役に立つなら」との思いで主任児童委員を引き受けられ、今年で3期目。13年間、地域のために誠実に活動をされています。

チヌ釣りを楽しまれる古賀さん。警戒心が強いチヌを釣るのに要する観察力、情報収集力、研究熱心で辛抱強く待つ姿勢が、主任児童委員として活動する姿に重なります。

地域に住む方々の生活状況（引きこもり、認知症、障がい、不登校等）は様々ですが、その実情を正しく理解し、皆で協力し助け合える社会になってほしいと穏やかに話して下さいました。



### 星ヶ丘区福祉会の 取り組みです！



星ヶ丘区福祉会では、「誰もがもっと住みやすい地域」を目指して、買い物外出支援（毎週3往復）や自治会と子ども会とも連携した取り組みに力を入れています。

今回は、ひな人形と地域の高齢者が作成した「さげもん」を展示したひな祭りパーティーを公民館で行いました。準備は子どもから高齢者まで地域全体で協力し合い、ひな祭り当日は、布絵本の読み聞かせもあり盛況でした。

今後は、竹の切り出しから始めるそうめん流しや餅つき大会等、季節に応じた行事を企画されています。



▲福祉会と子ども会の皆さん

◀津屋崎布絵本の会会長は星ヶ丘在住です

### お寺で体操をしてみませんか？

本木区にある西法寺では、月に2回、お寺の本堂で椅子に座ってストレッチを中心とした体操が行われています。

地域に住む高齢者の交流の場になればという住職さんの思いから、昨年6月から健康運動指導士の協力を得て始めました。穏やかな雰囲気です。体操やお茶のみが行われています。

檀家さんのみならず市内のどの地域からでも、どなたでも参加できます。



本堂での体操の様子

### 災害時のボランティア活動の 資機材倉庫を設置！

近年、多発する災害に備え、福津市社協は、近隣の宗像市社協、古賀市社協、宗像青年会議所と災害時の相互連携協定を締結しています。昨年は、3社協共同で災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を行うなど、平時からの連携を図っています。

また、宗像市社協の協力により、福岡県共同募金会の配分金を活用して、災害ボランティアセンター資機材倉庫を設置し、スコップや一輪車などの資機材をメイトム宗像に確保しました。

宗像市・古賀市・福津市のほかにも、県内で災害が発生した際に活用します。



### 株式会社イーサポート様から パソコンを寄贈いただきました！

株式会社イーサポートは、モバイルショップの展開など情報通信事業を行っている企業です。福津市においては、地域の方を対象に、スマホの使い方講座などを開催するなど、地域貢献に積極的に取り組まれています。

この度、使われなくなった携帯電話を回収し、寄附金や支援品に変え、地域社会の支援に繋げる事業の一環として、本会にパソコンを2台寄贈いただきました。

寄贈いただいたパソコンは、市内の高齢や障がいにより文字で情報を得ることが難しい方に広報紙などの情報をお届けする、『音訳ボランティアふくつ』『点訳ボランティアねむの会』の活動に活用させていただきます。

